



# ID&Eホールディングス株式会社

プライム市場 証券コード：9161

## 日経IR・個人投資家フェア2023 会社説明資料

2023年9月1日-9月2日

# Agenda

1. ID&Eグループについて
2. ホールディングス化について
3. 長期経営戦略と中期経営計画
4. 2024年6月期業績予想と株主還元

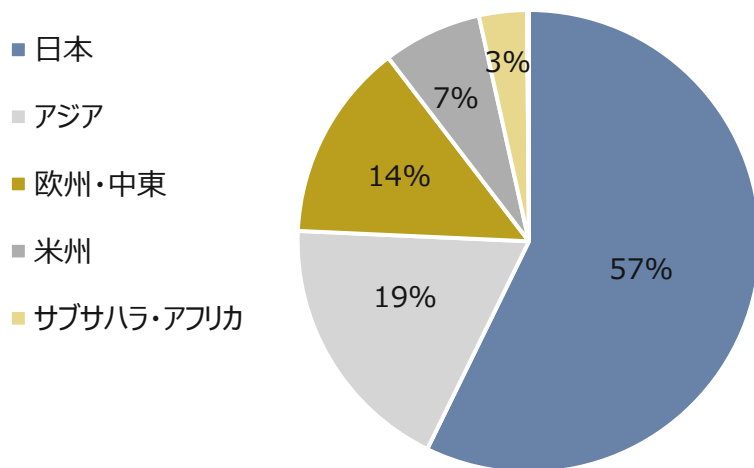
# 1. ID&Eグループについて

- 会社名 ID&Eホールディングス株式会社  
(2023年7月に上場会社を「日本工営」から「ID&Eホールディングス」に変更)
- 設立 2023年7月3日
- 資本金 7,522百万円 ※2023年8月10日現在
- 従業員数 6,335名 [グループ連結]
- 子会社数 84社
- 機関設計 指名委員会等設置会社
- 株式市場 東京証券取引所プライム市場  
(サービス：9161)

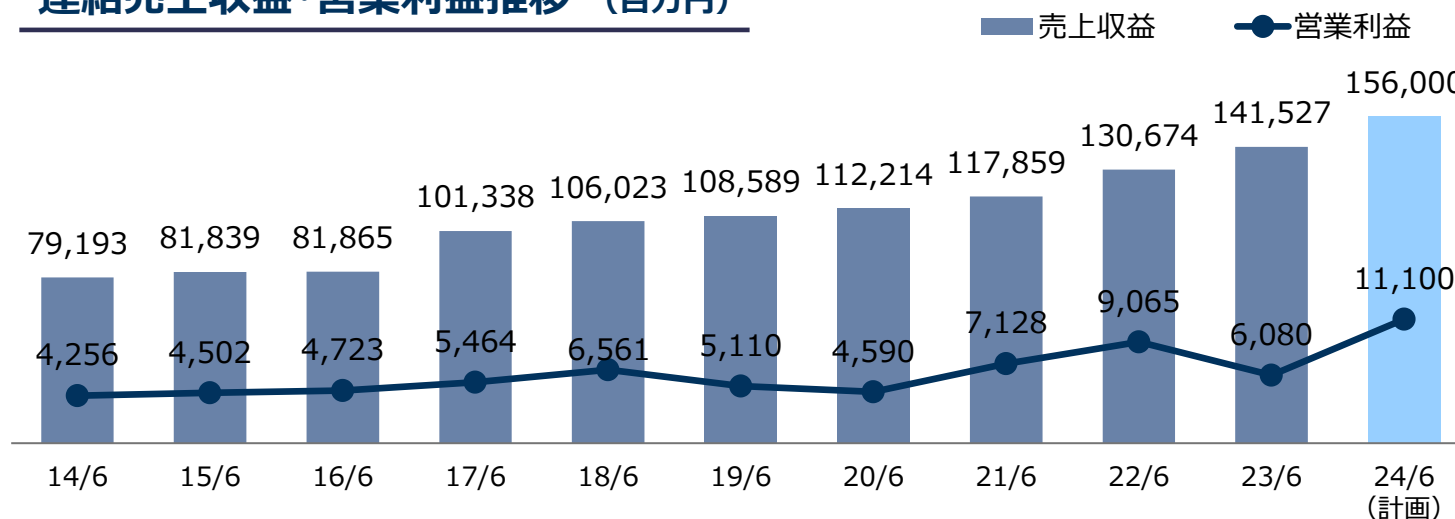
- 日本工営創業者 久保田 豊 (1890~1986)  
戦前は朝鮮半島で当時最大級の電源開発(水豊ダム/700MW)に従事。  
戦後、日本の復興および海外の戦時被災国復興を目指して1946年に56歳で会社を設立。  
海外技術協力の父と呼ばれ、1985年には、勲一等旭日大綬章。  
90歳まで、世界各地のプロジェクトを指揮し、開発途上国の発展に貢献。



## 地域別売上比率

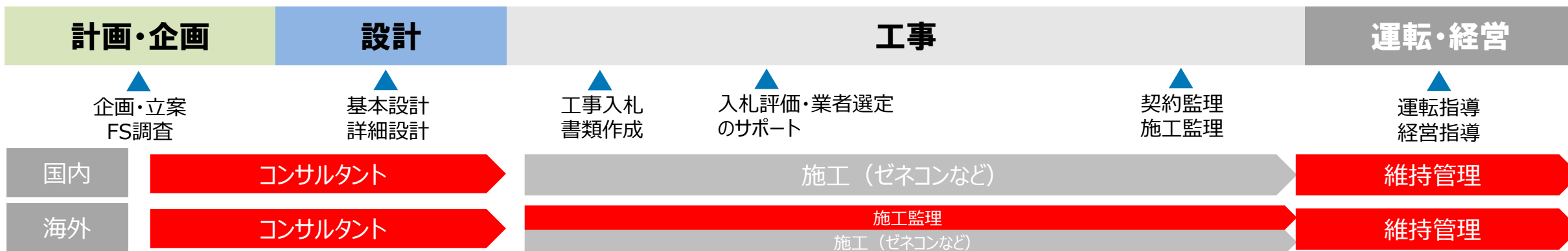


## 連結売上収益・営業利益推移 (百万円)

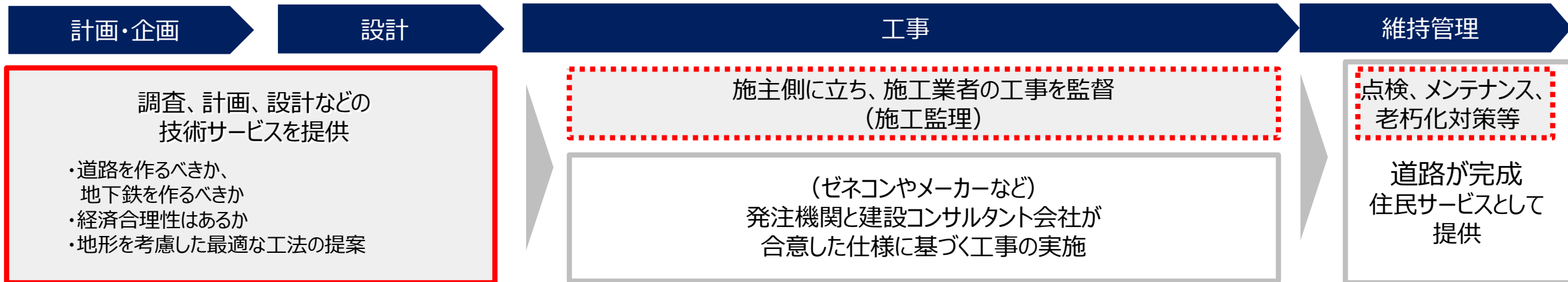


国内：主に設計段階まで携わる。主要顧客は、国土交通省などの一次官庁、都道府県、市町村などの二次官庁。

海外：案件により企画から工事の際の施工監理まで携わる。主要顧客は、国際協力機構（JICA）、相手国政府、国連・世界銀行など。



例) A地域での慢性的な渋滞問題



## 70年以上にわたり社会基盤整備に携わり、世界で国づくり・人づくりに寄与

### グループ従業員数



### 日本国内売上



### 年間プロジェクト件数



### 海外実績



### 海外売上比率



### グループ会社数



## 事業分野はコンサルティング・電力を基本に、近年は都市・エネルギーへ拡大

### コンサルティング



#### 主な顧客

国、地方自治体、JICA、  
海外政府機関

- インフラの計画・調査・設計
- インフラの長寿命化・維持管理のコンサルティング
- 防災・減災の技術コンサルティング

### 都市空間



#### 主な顧客

地方自治体、民間企業

- 地域開発調査、都市・地方計画の立案支援
- 建築設計、歴史的建造物の改修

### エネルギー



#### 主な顧客

電力会社、地方自治体、  
民間企業

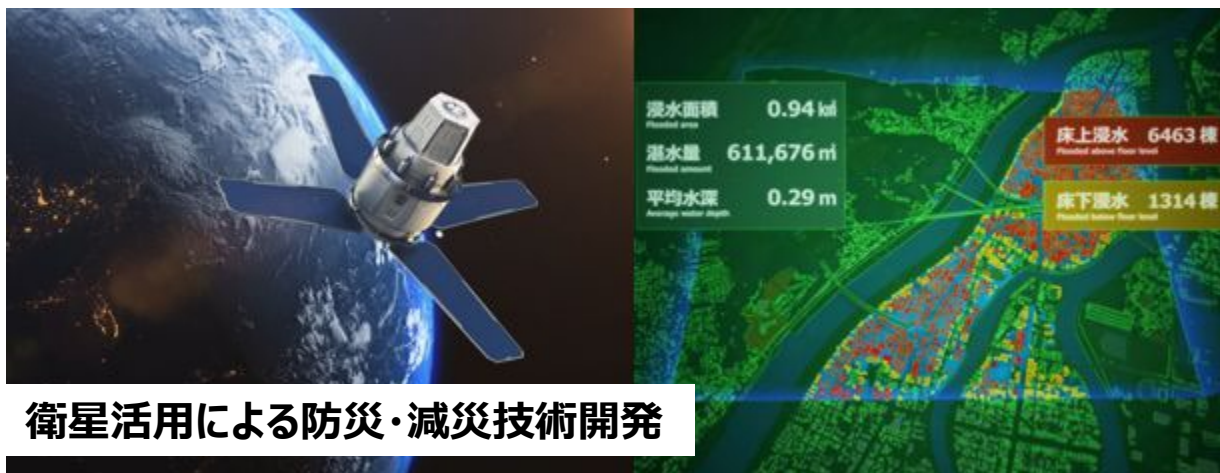
- 水力発電所・変電所の機器製造・工事
- 電力・電気設備のコンサルティング
- エネルギーマネジメント事業
- 水力発電所運営



ハツ場ダム関連業務



震災(大槌町)復興整備事業



衛星活用による防災・減災技術開発



自動運転実証事業





タイ都市鉄道



インドネシア 水力発電所



トルコ 震災復興支援



バングラデシュ 国際空港



シェフィールド・ハラム大学



ウエストminster宮殿 大改修事業



カナダ 高層建築



明治公園Park-PFI事業



製造工場 (福島県須賀川市)



英国・ベルギー 大規模蓄電プロジェクト



四時ダム発電所 (福島県)



おおくら升玉発電所 (山形県)

## 2. ホールディングス化について

日本工営グループは、2023年7月3日に  
ID&Eホールディングス株式会社（日本工営に代わる東証上場会社）を設立し、  
持株会社体制に移行しました。



## 社名に込めた思い

- 英文表記の社名の頭文字

**I**ntegrated **D**esign & **E**ngineering

様々な分野を統合  
(Integrated)、  
ワンストップで事業を推進

“土木×建築×エネルギー”を包含する  
総合建設コンサルタント&エンジニアリング企業  
としての当社グループの事業を象徴



1

各セグメントの  
自律と共創の推進

- ✓ 3事業（コンサルティング、都市空間、エネルギー）がそれぞれ持続的成長を実現する組織として自律（自立）し、各社の共創により**強みである総合力を強化**

2

多様性の確保

- ✓ グループ内に**多様性**を持たせ、各組織体が**対等な立場で自由に共創**できる環境を構築

3

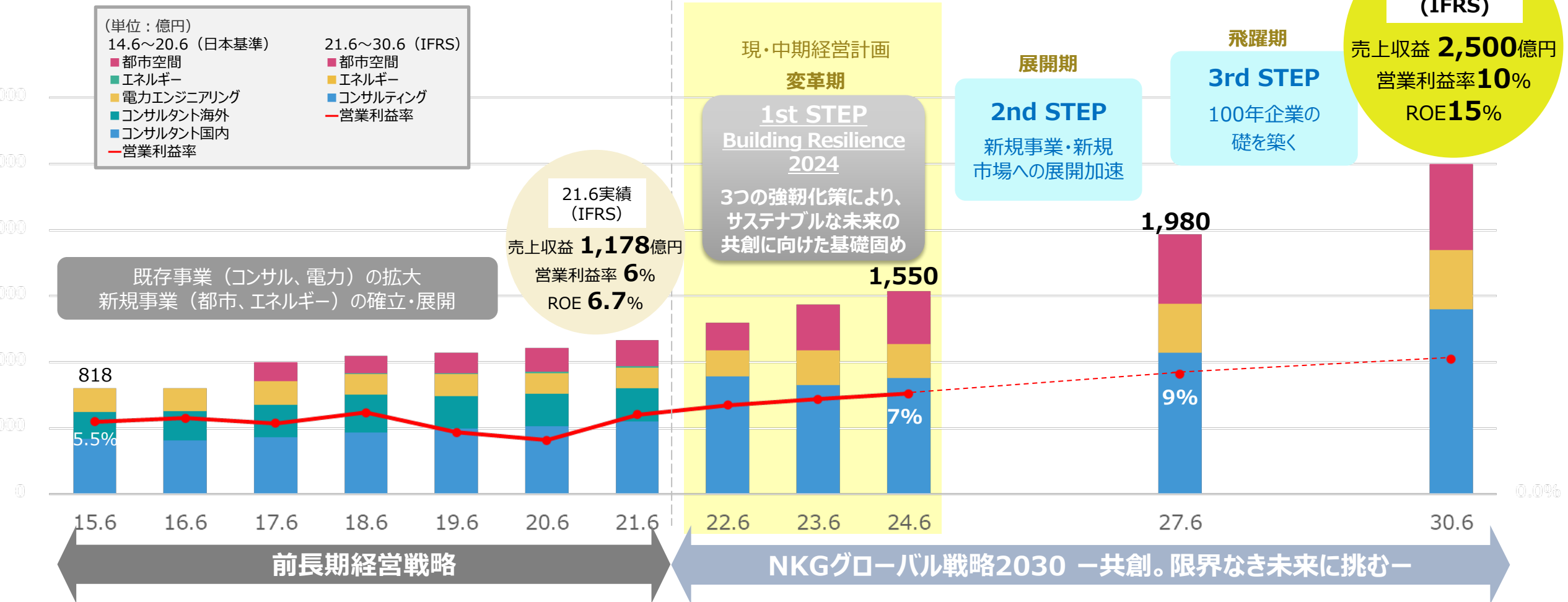
ガバナンスの強化と  
意思決定の迅速化

- ✓ 経営と執行の分離、指名委員会等設置会社の採用等によるガバナンス体制の強化、**意思決定の迅速化**

# 3. 長期経営戦略と中期経営計画

# ID&Eグループが2030年に目指す姿

社内外の多様なパートナーとの共創を通じ、知の探求、技術の革新と統合により新たな価値を提供し、人々が豊かさを実感できる社会の実現に貢献する企業グループを目指します。





## ID&Eグループの 強靱化

Building Resilience 2024

強靱化策1

3つのドメインの自立による事業推進

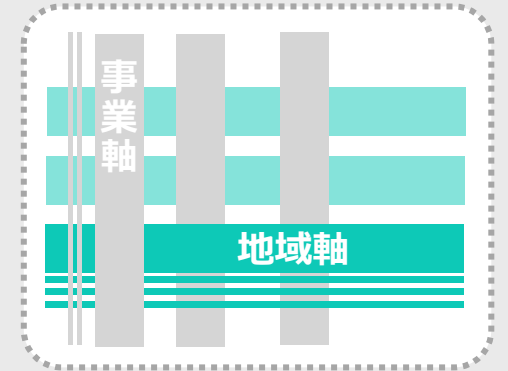
強靱化策2

事業と地域のマトリクス経営を実現するグループ経営体制

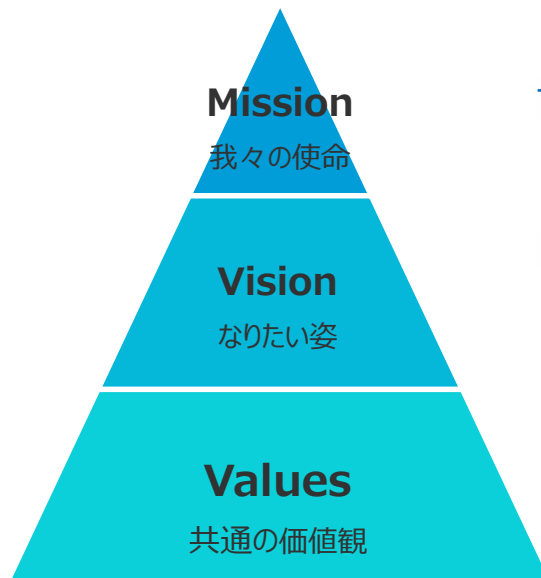
強靱化策3

ID&Eブランドとクオリティの確立

7つのマテリアリティに紐づいた施策を策定



### ID&EグループのMission、Vision、Values



**Mission**  
我々の使命

世界をすみよくする

**Vision**  
なりたい姿

唯一無二の価値を  
提供する会社

**Values**  
共通の価値観

誠意をもってことにあたれば  
必ず途（みち）は拓ける

### ID&Eグループのマテリアリティ

#### ■ 事業活動マテリアリティ

- 1.安全・安心なインフラ整備
- 2.スマート社会整備
- 3.魅力ある都市づくり
- 4.脱炭素への挑戦

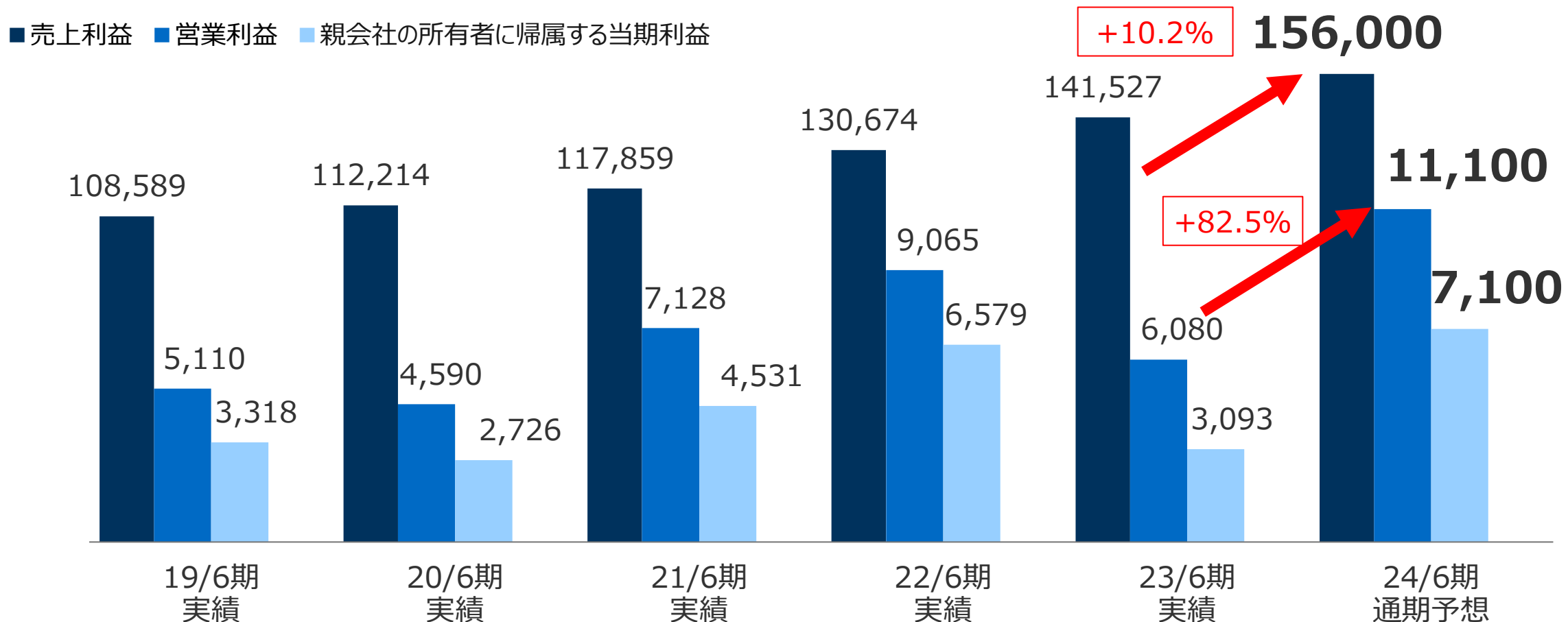
#### ■ 経営基盤マテリアリティ

- 5.ガバナンスの強化
- 6.人権が尊重され、働きがいのある職場環境
- 7.人財育成と技術開発

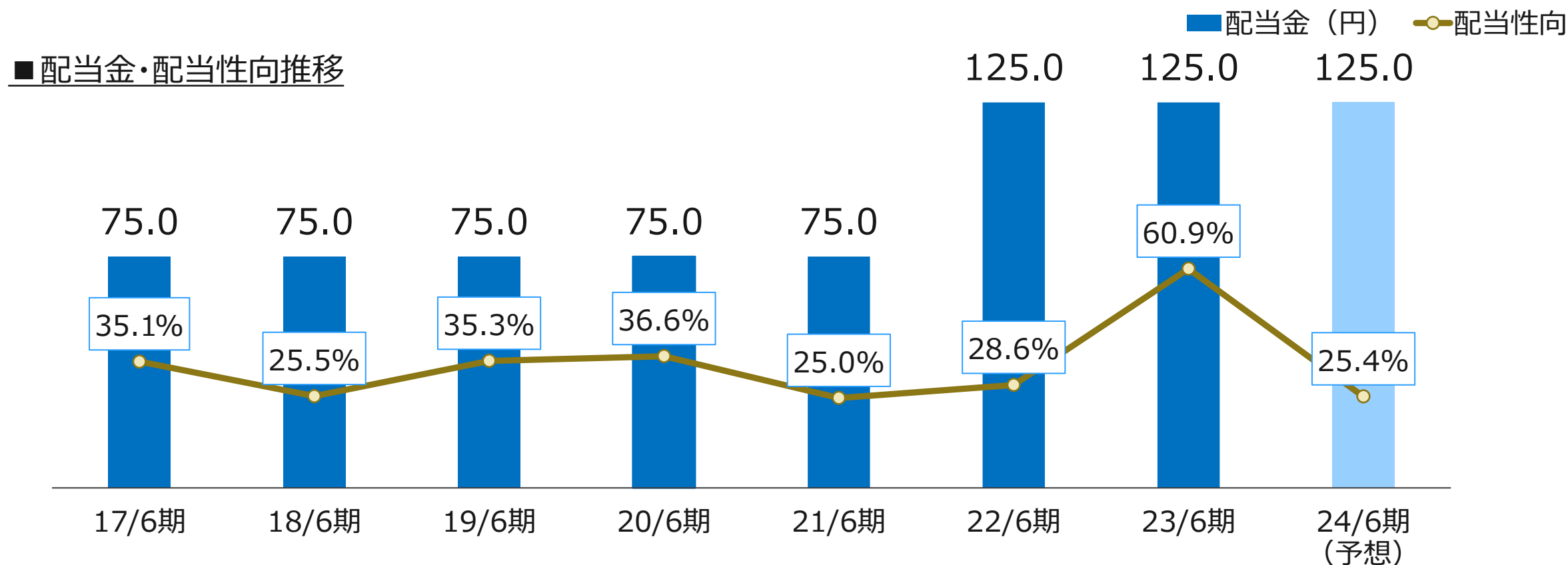
## 4. 2024年6月期業績予想と株主還元

## 海外の稼働率改善やエネルギー欧州蓄電事業開始により、 売上高・利益の大幅拡大を目指す

単位：百万円



- 配当性向は**30%目処**、安定的な配当と利益水準に応じた株主還元の充実を継続
- 自己株買い/消却は適正な総還元性向を実現するため、機会を捉えて実施
- 24年6月期の年間配当金は**125円/株を予定**



## ■ 株価・出来高推移 (2018/7-)



ご登録いただくと、当社ウェブサイトに掲載されるニュースを公表と同時に自動でメール受信できます。  
携帯・PCアドレスの登録が可能です。  
お手持ちの携帯やタブレットなどで下記のQRコードを読み取っていただくか、当社ウェブサイトの「IR  
メール配信サービス」ページからご登録ください。

## ▼IRメール配信サービス

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/mail/>



## ▼当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/>





# Appendix



①社会とともに発展する  
サステナブルなビジネスモデル  
(社会と日本工営がWin-Winな関係)

市場ニーズに合わせた変革の実施



社会課題解決を事業化

②日本の建設コンサルティングの  
リーディングカンパニー  
(事業領域・技術・人財)

**総合力** 高度化・複雑化に対応可能

**人財** 業界トップの技術士数

**技術** 独自研究施設と多数の特許

連結売上収益  
1,415億円

展開国  
160か国以上

年間受注案件  
9,000件以上

取得特許数  
85個

技術士数  
1,743名

※2023年6月期時点

時代変化に対応し、継続的な事業拡大と収益性向上を実現

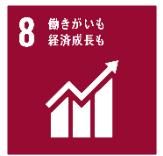

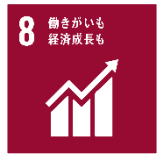







日本工営は、国内の建設コンサルタントとしてNo.1のリーディングカンパニー

順位	会社名	売上高（百万円／単体）	
		建設コンサルタント部門	全体
1	日本工営	61,058	80,796
2	パシフィックコンサルタンツ	51,218	54,808
3	建設技術研究所	48,696	51,359
4	オリエンタルコンサルタンツ	30,438	30,525
5	オリエンタルコンサルタンツグローバル	28,884	28,884
6	エイト日本技術開発	23,641	25,940
7	八千代エンジニアリング	23,329	23,975
8	いであ	21,521	22,065
9	日水コン	19,652	19,814
10	長大	18,836	20,527
24	日本工営都市空間（2022年7月に玉野総合コンサルタントと統合）	11,801	13,588

※出典：日経コンストラクション2023年4月20日号 建設コンサルタント部門売上高ランキング（決算内容一覧）



マテリアリティに事業活動を紐づけ、ID&Eグループが世界の共通課題に対して何ができるのかを明確化し、持続可能な開発目標（SDGs）に対して貢献していくと同時に当社の企業価値向上へと繋げていく

マテリアリティ	主な関連SDGsゴール	各マテリアリティに対する取組み例
安全・安心なインフラ整備	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い分野における高品質なインフラの整備</li> <li>防災・減災のためのハード・ソフト両面からのサービス提供</li> </ul>
スマート社会整備	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港や鉄道等の交通拠点とネットワーク整備によるモビリティ社会の実現</li> <li>海外無電源化地域での電力インフラ整備</li> </ul>
魅力ある都市づくり	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティング、都市空間、エネルギーの共創によるスマートシティの開発</li> </ul>
脱炭素への挑戦	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動対策のコンサルティングサービス提供</li> <li>国内外での再エネ事業の拡大</li> </ul>

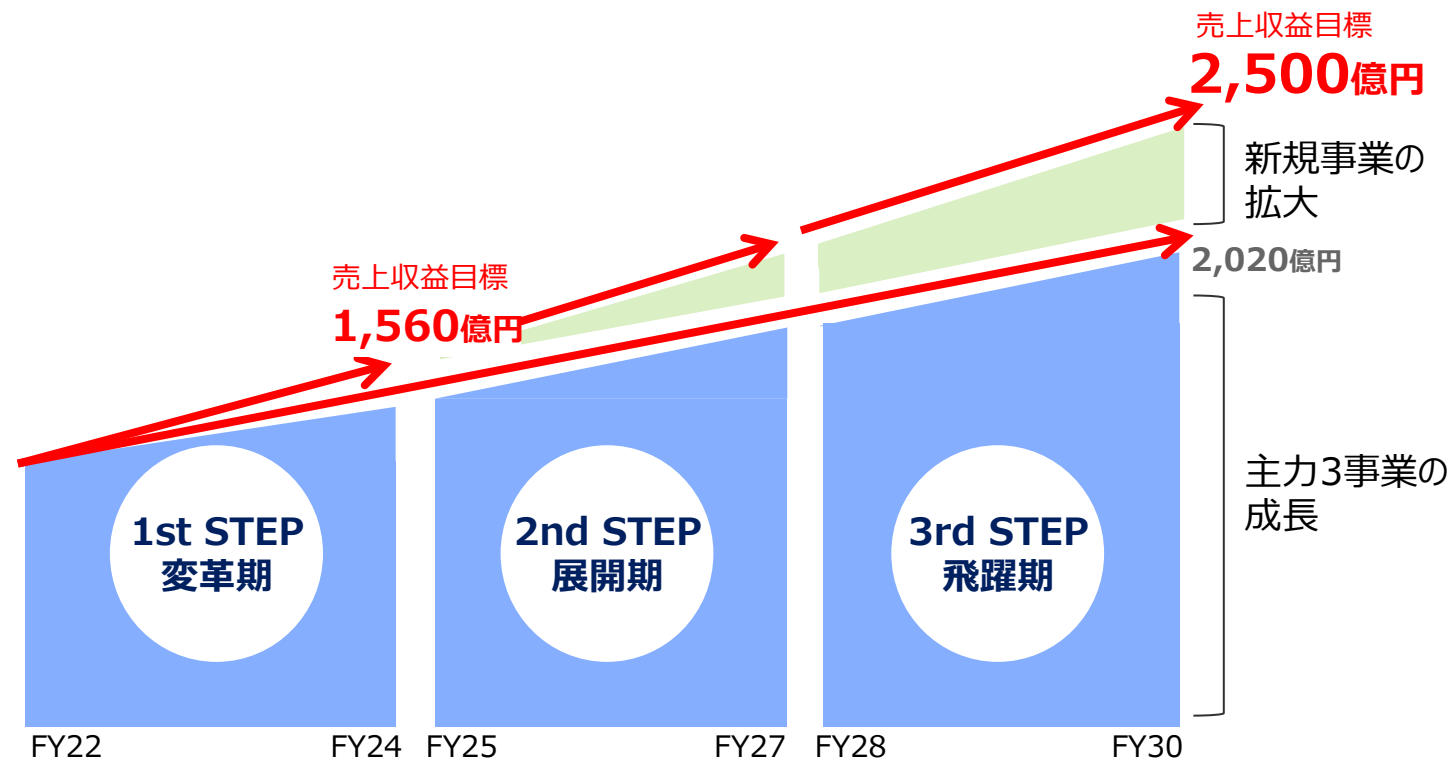


マテリアリティに事業活動を紐づけ、ID&Eグループが世界の共通課題に対して何ができるのかを明確化し、持続可能な開発目標（SDGs）に対して貢献していくと同時に当社の企業価値向上へと繋げていく

マテリアリティ	主な関連SDGsゴール	各マテリアリティに対する取組み例
ガバナンスの強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>機関設計の見直し</li> <li>コンプライアンス活動の強化</li> </ul>
人権が尊重され、働きがいのある職場環境	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>Well-being経営のさらなる推進</li> </ul>
人財育成と技術開発	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>ID&amp;E Global AcademyによるNKGブランドを体現する人財の育成</li> <li>DXを活用した新たな付加価値の創造</li> </ul>

## ID&Eグローバル戦略2030 – 共創。限界なき未来に挑む –

2030年6月期 目標	
売上収益 <b>2,500億円</b>	営業利益 <b>250億円</b>
営業利益率 <b>10%</b>	ROE <b>15%</b>
日本では圧倒的No.1、世界でもトップクラス	



「世界をすみよくする」ために事業を通じて社会課題の解決に取り組み、  
サステナブルな未来の実現に貢献

**強靱化策①：**  
3つのドメインの自立による事業推進

- ✓ コンサルティング事業でDX関連事業が推進（AI点検診断システム、BIM/CIM活用）
- ✓ エネルギー事業の製造部門の生産体制強化は多くの課題が残った状態

## マテリアリティ1 安全・安心なインフラ整備

### コンサル



- ダム再生・新規ダム事業拡大
- 自治体向けAI点検診断システム構築等、DX技術活用

### エネルギー



- 製造部門の材料長納期化による売上の低迷、生産能力安定化は途上

## マテリアリティ2 スマート社会整備

### コンサル



- 鉄道案件のPMツールの改善
- BIM/CIMの活用推進

### 都市



- 海外鉄道駅周辺開発受注は進展
- アジアのBDP協業案件形成が課題

## マテリアリティ3 魅力ある都市づくり

### 都市



- 総合力発揮案件（JFE臨海部土地利用転換プロジェクト）は進展したものの、都市開発分野の受注計画は未達
- 更なる民間企業のネットワーク強化・活用が今後の課題

## マテリアリティ4 脱炭素への挑戦

### エネルギー



- エネルギーマネジメント技術活用案件を国内で受注（ENEOSエネルギー拠等）
- ベルギー蓄電プロジェクト運転開始
- 需給調整市場参入が遅延（2023年7月に参入）

FY23実績・  
評価

**強靱化策②：**  
事業と地域のマトリクス経営を実現するグループ経営体制

- ✓ HD・事業会社・経営管理会社の稼働開始
- ✓ 地域統括体制を強化・拡充、マトリクス経営本格稼働

**強靱化策③：**  
ID&Eブランドとクオリティの確立

- ✓ BIMの社内資格制度の開始、ID&Eグローバルアカデミー準備進展

## マテリアリティ5 ガバナンスの強化

## マテリアリティ6 人権が尊重され、 働きがいのある職場環境

## マテリアリティ7 人財育成と技術開発

### 組織戦略



- HD・事業会社・経営管理会社の稼働開始
- 投資案件モニタリングの新制度導入
- HD体制下でのサステナビリティ会議体設置

### 人財・技術戦略



- テレワークガイドラインの更新、出社バランス見直し
- 健康経営ホワイト500 5年連続認定
- HD体制下での情報セキュリティ委員会設置

### 人財・技術戦略



- BIM社内資格制度の開始
- 全社を対象としたDXビジョン策定、DX説明会定期開催
- 防災分野3Dモデル関連業務、スマートシティ案件受注

### 営業戦略



- 地域統括体制を再構築、各主要会社から地域担当を任命

FY23実績・  
評価

## 受注・売上収益は前期比増、各利益は減益。計画はいずれも未達。

### 連結業績

- 受注高は**都市空間事業、エネルギー事業**が好調に推移し、前期比で増加、ほぼ計画並み。
- 売上収益は**3セグメント（コンサルティング、都市空間、エネルギー）**いずれも手持ち案件が順調に推移し増収だが計画は未達。
- 営業利益は**BDP社ののれん減損の計上**およびコンサルティング事業の外注費・通信交通費の増加により減益、計画大幅未達。

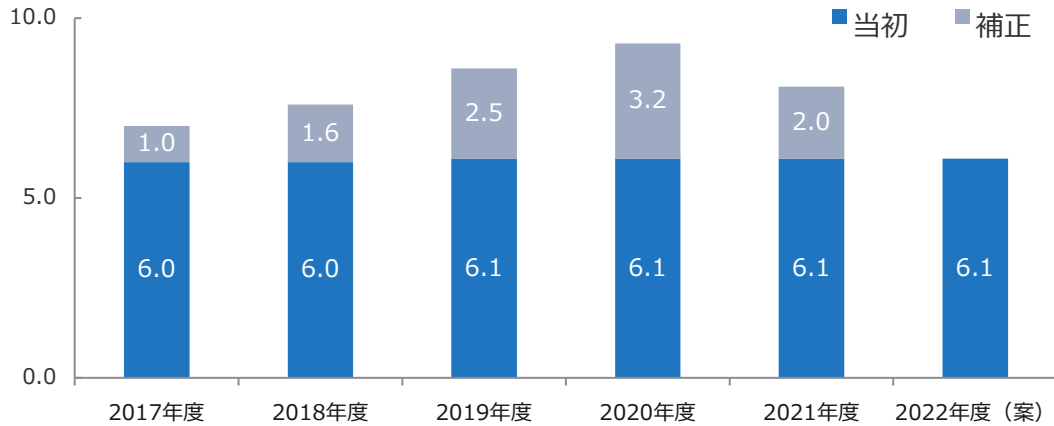
(単位：百万円)	22/6期 実績	23/6期 実績	前期比		業績予想 (期初発表)	業績予想対比	
			増減	比率		増減	比率
受注高	131,166	139,265	8,099	106.2%	140,000	▲734	99.5%
売上収益	130,674	141,527	10,853	108.3%	145,000	▲3,472	97.6%
売上総利益	40,699	42,346	1,646	104.0%			
営業利益	9,065	6,080	▲2,984	67.1%	11,300	▲5,219	53.8%
税引前利益	10,800	6,373	▲4,426	59.0%			
親会社の所有者に帰属する当期利益	6,579	3,093	▲3,485	47.0%	6,700	▲3,606	46.2%



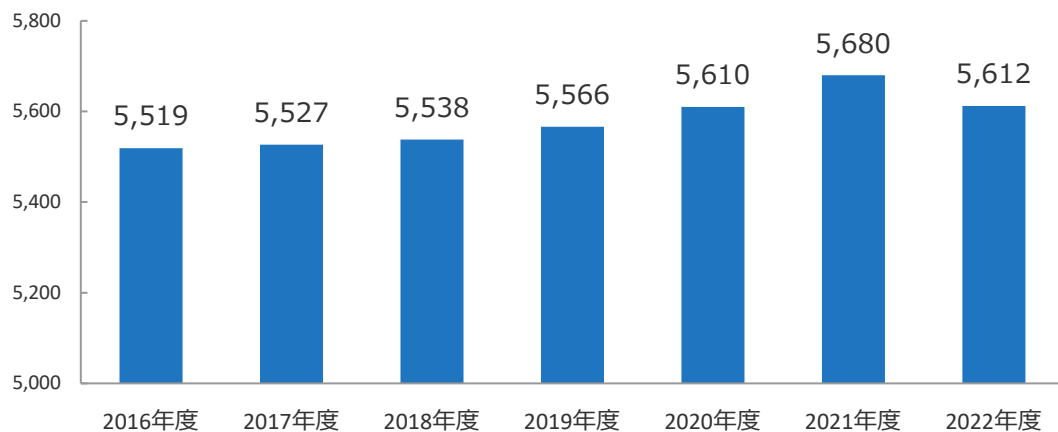
# 2023年6月期セグメント別実績

(単位：百万円)		22/6期 実績		23/6期 実績		前期比		23/6期 期初計画	計画比	
						増減	比率		増減	比率
コンサルティング 事業	受注高	84,717	売上比	77,712	売上比	▲7,004	91.7%	85,000	▲7,287	91.4%
	売上収益	75,000	100.0%	81,818	100.0%	6,818	109.1%	81,500	318	100.4%
	売上原価	50,957	67.9%	56,540	69.1%	5,582	111.0%	-	-	-
	売上総利益	24,042	32.1%	25,277	30.9%	1,235	105.1%	-	-	-
	販管費等	16,070	21.4%	18,678	22.8%	2,608	116.2%	-	-	-
	営業利益	7,971	10.6%	6,599	8.1%	▲1,372	82.8%	9,200	▲2,600	71.7%
都市空間 事業	受注高	31,981	売上比	42,566	売上比	10,585	133.1%	40,000	2,566	106.4%
	売上収益	36,091	100.0%	38,071	100.0%	1,980	105.5%	40,000	▲1,928	95.2%
	売上原価	27,107	75.1%	28,020	73.6%	912	103.4%	-	-	-
	売上総利益	8,983	24.9%	10,051	26.4%	1,067	111.9%	-	-	-
	販管費等	6,384	17.7%	10,997	28.9%	4,612	172.3%	-	-	-
	営業利益	2,599	7.2%	▲946	-	▲3,545	-	2,800	▲3,746	-
エネルギー 事業	受注高	14,343	売上比	18,827	売上比	4,484	131.3%	16,000	2,827	117.7%
	売上収益	18,799	100.0%	20,855	100.0%	2,056	110.9%	22,500	▲1,644	92.7%
	売上原価	14,545	77.4%	15,507	74.4%	961	106.6%	-	-	-
	売上総利益	4,253	22.6%	5,348	25.6%	1,094	125.7%	-	-	-
	販管費等	2,963	15.8%	2,373	11.4%	▲589	80.1%	-	-	-
	営業利益	1,290	6.9%	2,974	14.3%	1,684	230.5%	2,400	574	123.9%

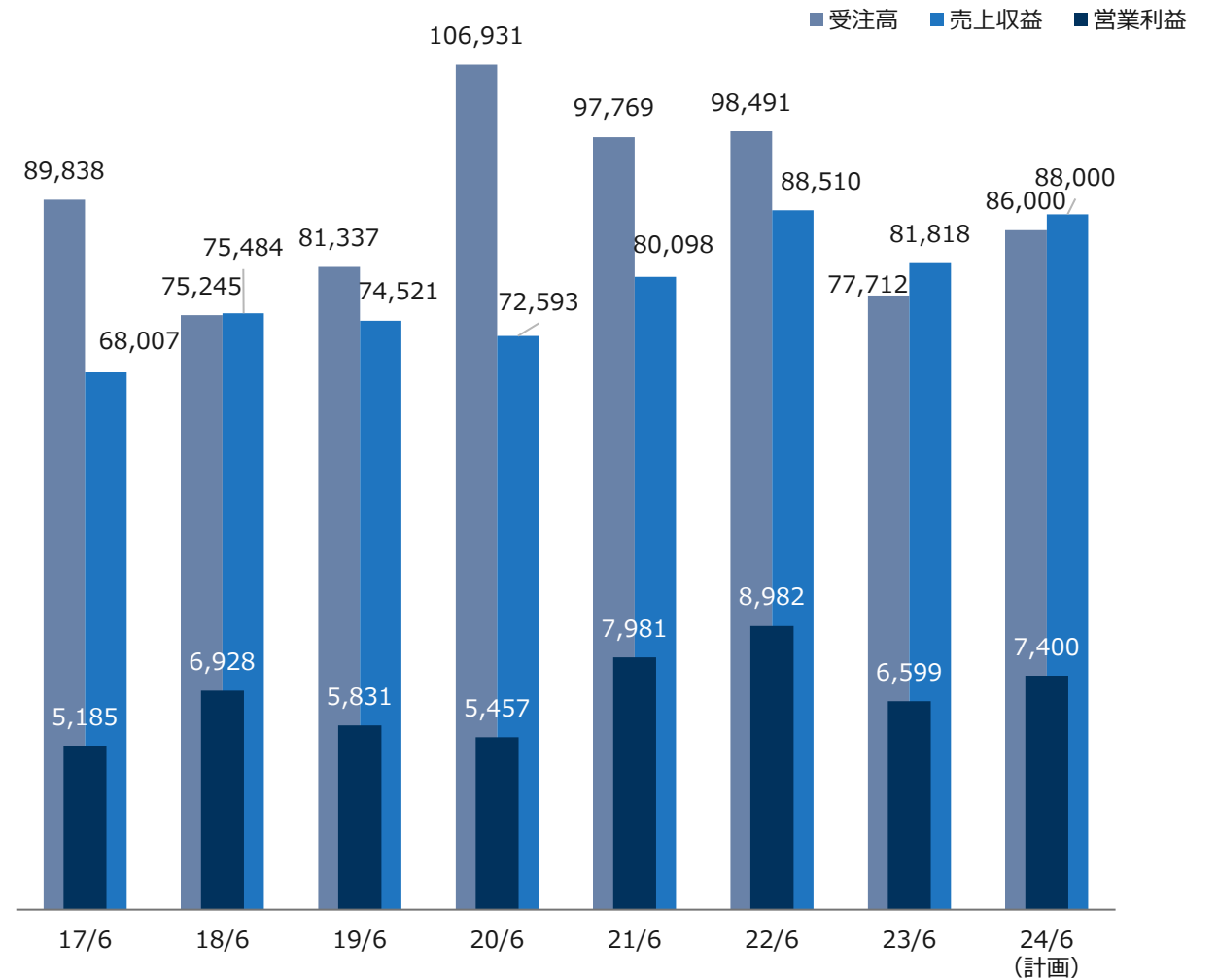
## 公共事業関係費 (兆円)



## 一般会計ODA当初予算 (億円)

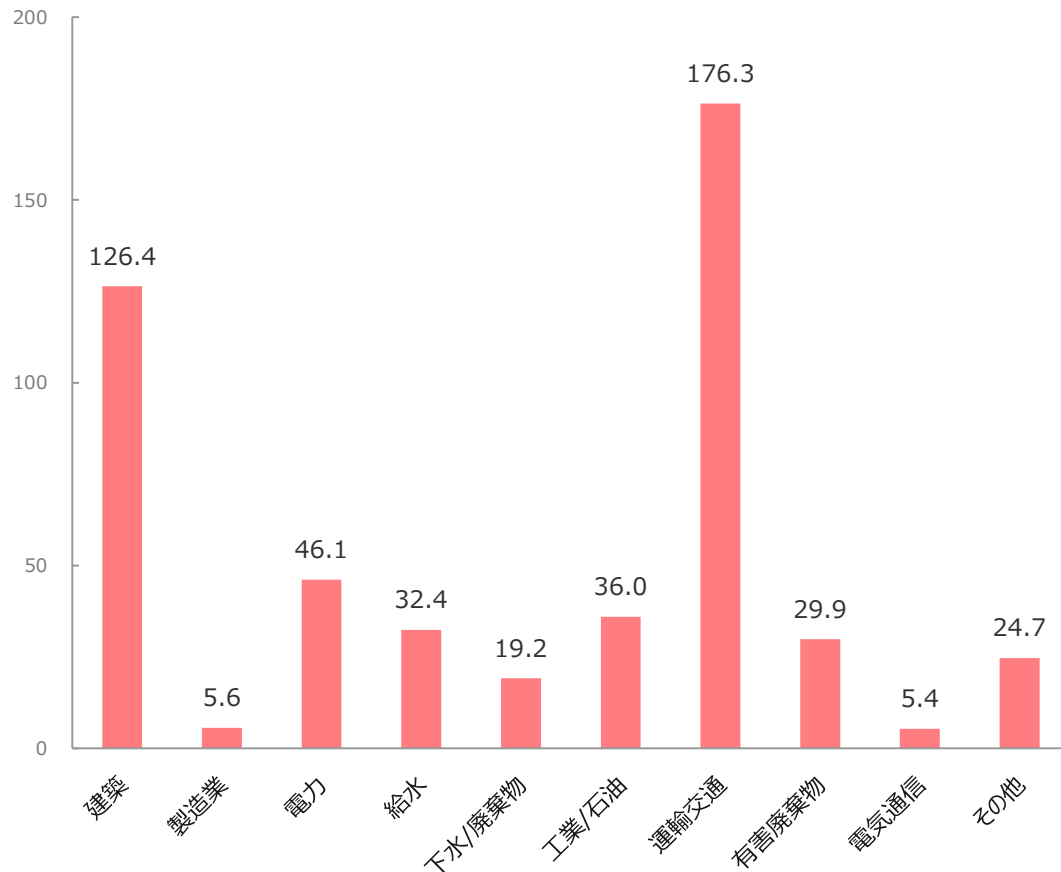


## ID&E (日本工営) コンサルティング事業 業績推移 (百万円)

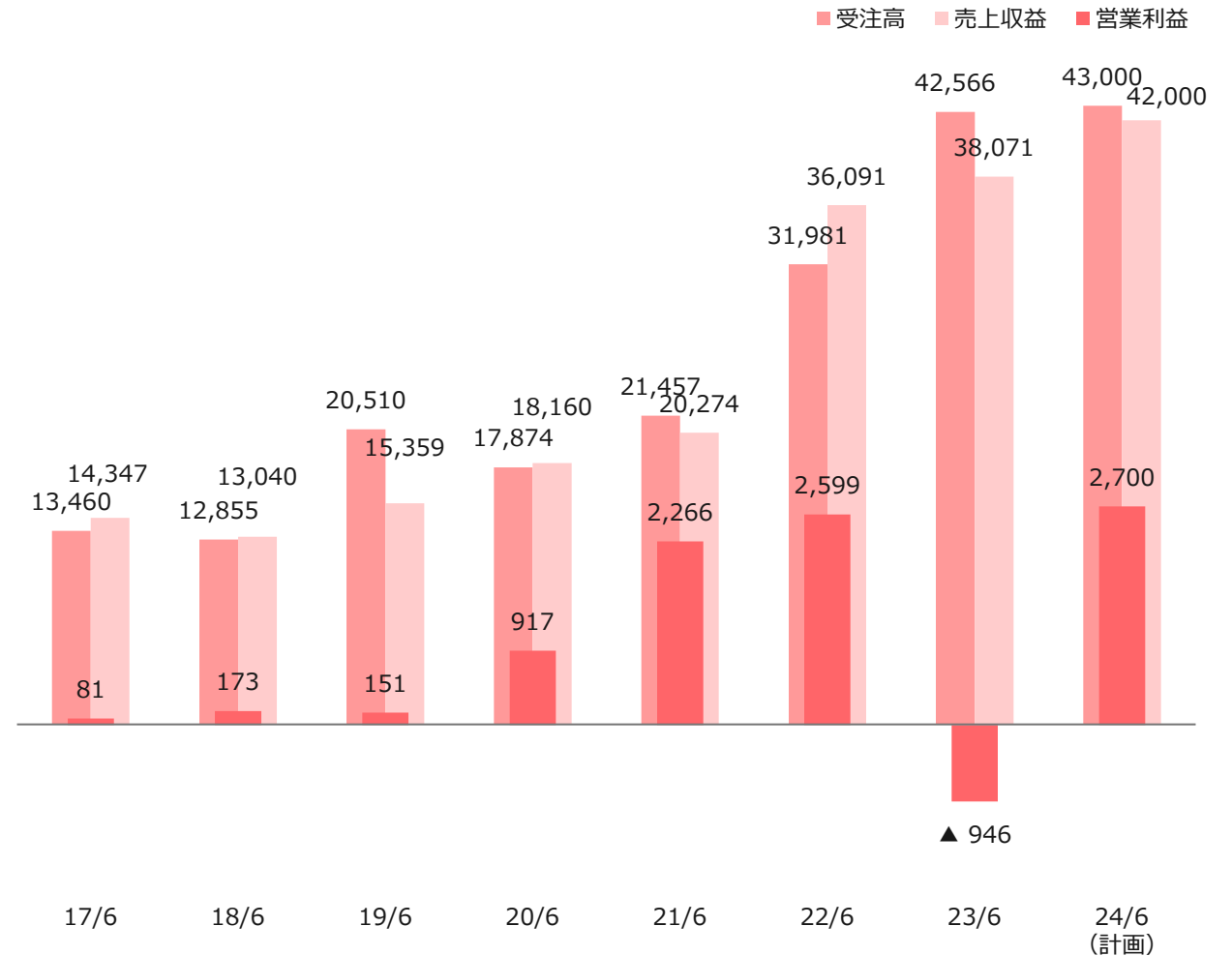


※業績推移の2016年6月期から2020年6月期の数値は、コンサルタント国内事業、コンサルタント海外事業の内部取引消去前の単純合算値。  
 ※業績推移の2016年6月期から2020年6月期までは日本基準、2021年6月期からIFRSは基準で記載。  
 ※業績推移の2022年6月期からは旧玉野総合コンサルタント株式会社の都市空間セグメント移管分を反映。

## 調査・設計会社上位164社 2021年度 分野別売上高 (億ドル)

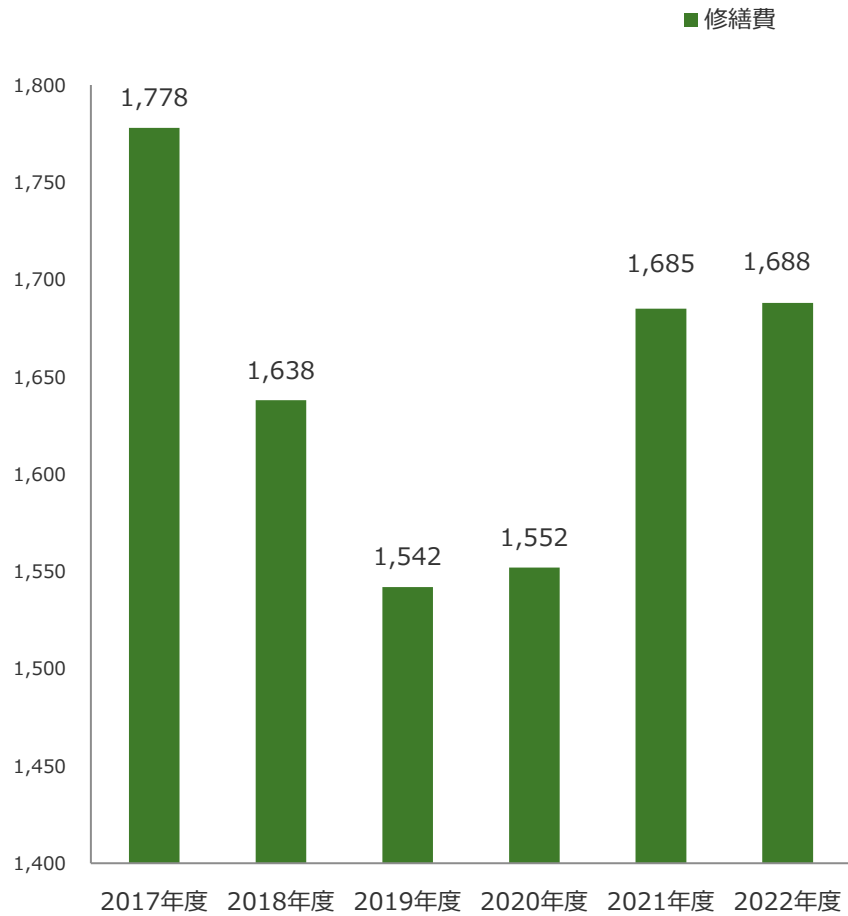


## ID&E (日本工営) 都市空間事業 業績推移 (百万円)

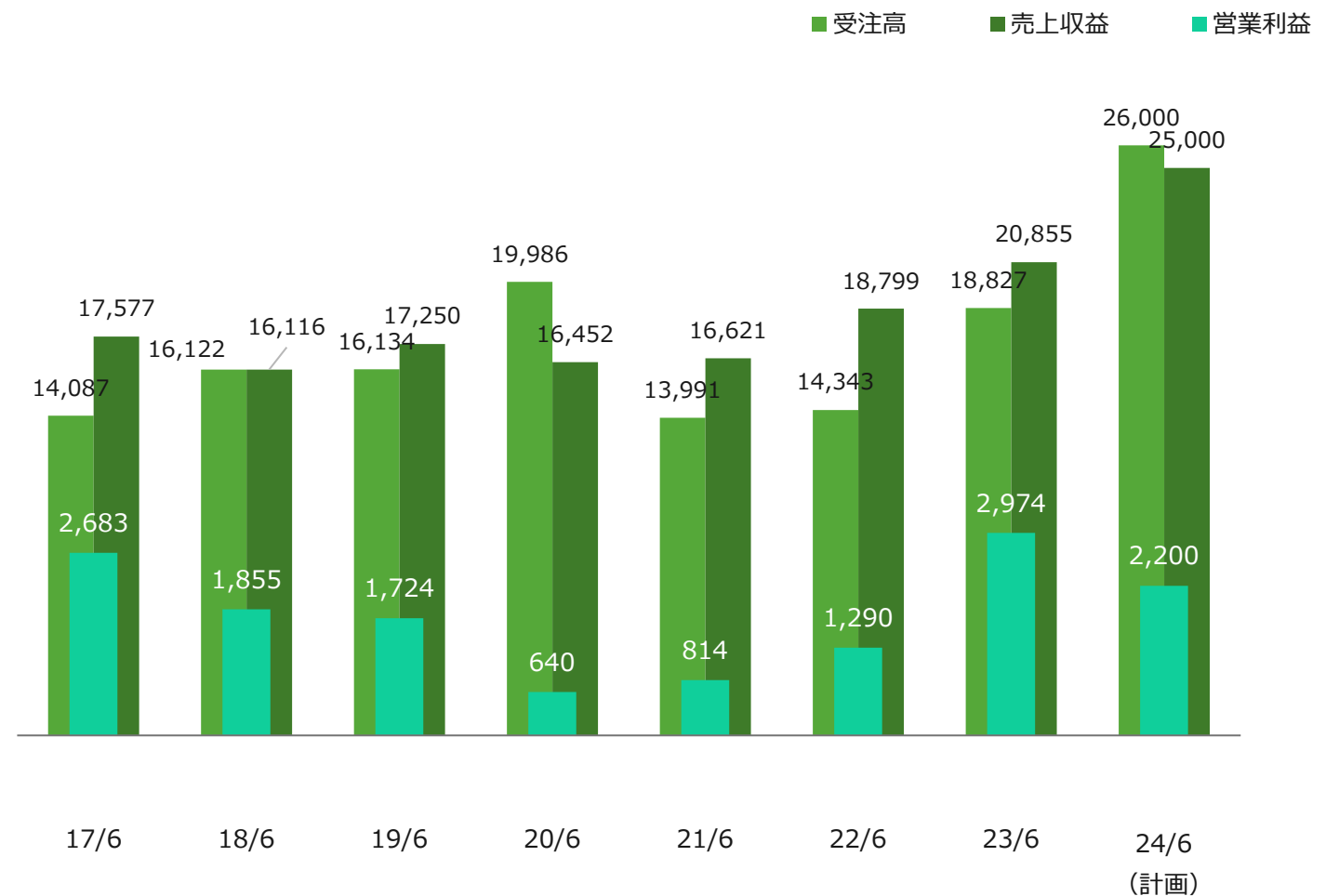


※出典：ENR誌（2022年8月発行）をもとに当社作成。  
 ※業績推移の2017年6月期から2020年6月期までは日本基準、2021年6月期からIFRSは基準で記載。  
 ※業績推移の2022年6月期からは旧・玉野総合コンサルタント株式会社のコンサルティングセグメントからの移管分を反映。

## 東京電力HD 修繕費 (億円)



## ID&E (日本工営) エネルギー事業 業績推移 (百万円)



※業績推移の2016年6月期から2020年6月期の数値は、電力エンジニアリング事業、エネルギー事業の内部取引消去前の単純合算値。  
 ※業績推移の2016年6月期から2020年6月期までは日本基準、2021年6月期からIFRSは基準で記載。



## IRに関するお問い合わせ

**ID&Eホールディングス株式会社** コーポレートコミュニケーション室

**TEL:03-5276-2454 MAIL:c-com@n-koei.co.jp**

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。